

“ともに立ち上がろう！”

JBU 救援ニュース < 第 9 号 >

基幹労連
東日本大震災
中央災害対策本部
2011年4月22日(金)
www.kikan-roren.or.jp

～被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます～

◆現在の被災状況

現在掌握できている組合員の人的被害 死亡 11 名、安否未確認 2 名(4月22日現在)

◆東北 3 県を激励訪問～第 2 弾～

3 月末の訪問に引き続き、東北 3 県へ激励訪問を行いました。県本部委員長・事務局長を中心に構成組織にもご対応いただき、その後の状況について詳細に聞きとりし、必要な物資や要望を受けました。

★福島県へ

4 月 13～14 日、澤田委員長代行と芝中執が、福島県本部、小名浜製錬所労組、I H I 労連相馬支部、I H I キャスティングス労組、I H I 機械システム本宮労組、三菱マテリアルいわき製作所労組、東邦亜鉛労組小名浜支部を訪問。要請により、ガソリン携行缶、ポンプ、水等を届けました。

現地からの要望：原発事故の早期収束と風評被害対策、盗難への防犯対策、港の回復、保育所の復旧、ボランティアセンターの機能発揮など

★岩手県へ

4 月 18～19 日、基幹労連・小島副委員長、森下中執と、新日鐵労連・戸高副会長が、岩手県を訪問。岩手県本部、新日鐵釜石労組、日鐵物流釜石労組、産業振興釜石労組、タイリク労組の各委員長にもお集まりいただきました。文房具、下着類、ペール缶等を届けました。



現地からの要望：仮設住宅の増築、ボランティア派遣の増員、メンタル面のケア、通勤手段の確保、行政機能(特に大槌町)の回復、治安維持など

★宮城県へ

4 月 20～21 日、基幹労連・兼子副委員長、吉川中執、橘中執と、J F E スチール本社労組・田中委員長が、宮城県本部、J F E 条鋼労組仙台支部、東北スチール労組、日鐵住金建材労組仙台支部、J F E 鋼材労組仙台支部、東北ドック鉄工労組、三菱マテリアル東北労組、細倉鉦山労組、東北特殊鋼労組を訪問しました。車が流されて移動手段が全くなかった宮城県本部へは軽自動車、自転車等を、また構成組織へも飲食物等を届けました。



現地からの要望：移動手段の確保、ボランティア派遣の早期検討など

◆連合ボランティア第3陣が出発



4月16日(土)から4月24日(日)まで、連合ボランティア派遣団第3陣として基幹労連から20名が参加し、担当の釜石地区において奮闘しています。

←基幹労連の派遣団と見送り

□ボランティア体験談(その2)～釜石地区第1陣より～



左: 広島県本部・橋詰事務局長
右: 筆者

被災地では、倒壊した家屋や汚泥からの異臭は防塵マスク越しにも感じられ、衛生面の悪化も深刻な状況となっていました。我々は消毒効果のある石灰の散布作業を中心に行いましたが、その作業中、同じ場所で同じように泣きじゃくっている女の子に二度出会いました。そこにはお母さんの姿は無く、津波が全てを奪い去った現実を、子供心に納得がいかず泣いていたようです。ボランティア活動においては、被災者の「心のケア」も重要と分かっていましたが、何とも言えない悲しみが一気に込み上げ、結局その親子に声を掛けることができませんでした。その光景は今でも目に焼きついて離れ

ません。被災地の惨状、被災者の悲しみや苦しみに接し、これまで以上に支援の必要性を強く感じました。一日でも早い復興へ向け「ともに立ち上がろう!」。そして、基幹労連全組合員のパワーを東北の地へ届けましょう。

三菱重工労働組合三原支部 久保 明 執行委員



◆カンパへのご協力、誠にありがとうございます。

引き続きのご協力をお願いします!

取り組み期間 4月22日(金)まで(以降も受け付けますが早めに振込をお願いします)

振込先 中央労働金庫 日本橋支店 普通預金

口座名: 「基幹労連 東北地方太平洋沖地震義援金」

口座番号: 3581372

◆風評被害を受けている産地の食材を食べて、被災地を応援しよう!

今回の震災によって、東北・関東地方の農水産業者・食品関連事業者の多くが被災し、加えて原子力発電所事故に伴う風評被害を受けるなど、深刻な打撃を受けています。東北・関東地方の農林水産物などを積極的に購入し、支援を行いましょう!



以上

<基幹労連本部連絡先> 電話 03-3555-0401

土日・祝日・夜間(携帯電話)080-1126-4134